

結 末

本調査ハ嘉南大圳組合ニ於テ事業運用上ノ效果ハ本島産米事情ニ重大ナル關係ヲ有スルノミナラス、我國米穀政策上ニモ影響スル處大ナルモノアルヘシト思考セラレタルヲ以テ、本事業ニ對スル既往ノ實績ト將來ノ發展性ニ就キ調査ニ著手シタルモノナルモ、其ノ進捗ニ伴ヒ所期ノ調査資料ニ乏シク調査上ノ障礙ヲ來シタリ。而シテ本事業計畫ノ實體ニ即シ系統的ニ計數ヲ基礎トシ之ガ調査ノ徹底ヲ期セムトセハ調査方針ヲ定メ水利組合並關係當局ノ了解ノ下ニ關係各街庄（街庄毎ニ大字、字別ニ調査ヲ要ス）ニ涉リ調査セサルヘカラス。抑本事業ハ其ノ面積十五萬甲歩ニ達シ、臺南州下十郡四十五街庄ニ跨リ昭和九年末調同州下耕地面積二十六萬四千五百甲餘（田一二五、二一四甲餘）田利用 一期作田 二三、二五〇甲餘 畑一三九、三二六甲餘 田二期作田一〇一、九六四甲餘）ニ對シ、其ノ大半ヲ包容スル極メテ廣大ナル地域ニ灌溉排水施設ヲ爲シタルモノニシテ、工事ノ構築區域ノ廣汎ナル實ニ東洋ニ冠タルモノタルハ何人モ之ヲ首肯スル所ナルヘシ。特ニ農業經營上ノ根幹トモ稱スヘキ三年輪作式農法ノ實施ハ一般

水利事業ト其ノ趣ヲ異ニスルモノアリ、從ツテ農業經營上經濟並技術的ニ諸種ノ事情纏綿シ復雜多岐ニ涉ルモノアリ爲ニ調査上相當ノ日子ヲ必要トシ、一朝一夕ノ克ク之ヲ爲ス能ハサルノ事情ニ逢著セリ。爰ニ於テ止ムヲ得ス蒐集ニ係ル調査ニ基キ極力系統的ニ之ヲ纏メ意義アラシムコトヲ期シタルモ、事情如斯ナルヲ以テ極メテ概括的ニシテ該事業ノ一般ヲ窺知スルニ過キサルノ結果ヲ來シ、米ノ生産ニ關スル事情ニ就テハ特ニ此ノ感ヲ深カラシムルモノアルハ甚タ遺憾トスル所ナリ。

元來本事業ハ本島産業政策上ハ勿論臺南州下ニ於ケル農業開發上ノ見地ヨリ督府當局ノ獎勵ト關係農民ノ熱誠ナル希望ノ下ニ計畫實施セラレタルモノニシテ、大正十年工ヲ起シ十箇年ヲ費シ昭和五年ニ至リ完成スルニ至リタルモノナリ。而シテ此ノ間天災又ハ不可抗ノ原因或ハ經營界ノ不況等屢々工事ノ進行ヲ阻害セラレタルコト一切ニシテ止マラス。亦工事完成後ニ於テ、天災或ハ人爲的支障ヲ伴ヒ工事上ノミナラス經營上紆餘曲折ヲ經テ漸ク生産的價值ノ向上ト組合精神ノ改善

ニ依リ前途ニ曙光ヲ認ムルニ至リタルモノニシテ、爾來該事業ノ工事效果モ漸進的ニ良好ナル進境ヲ辿リツ、アリト雖モ今後ニ於ケル農業經營上平面的ヨリ立體的ニ改善促進對策ニ關シ前途尙洋々タルモノアルヘシ。

本事業ノ實踐ニ對スル具體化ハ専ラ統制アル自治的運用並調査機關ノ改善ト共ニ之ニ執掌スル有識熱誠ナル適任者ヲ配置シ、組合獨自ノ活動ナル活動ト當局ニ於ケル指導獎勵トハ唇齒輔車タルノ關係ヲ俟ツニアラザレバ到底完全ナル目的ヲ達スル能ハサルモノナリト信ス。

以上述べタル所ニ依リ事業上ノ根幹タル三年輪作式農法ニ對スル合理的、經濟的改善促進並水利機關ノ維持運用ニ關シ種々對策ノ樹立ヲ必要トスルモ、之ガ具體的批判ハ要スルニ事業ノ範圍廣大ナルト、改善促進ニ關スル問題ノ頗ル重大ナルニ鑑ミ農業經營上技術的、經濟的方面ハ勿論其ノ他各種特殊事情等ノ方面ヨリ觀察シ充分ナル調査研究ヲ遂クルニ非ラザレハ輕々ニ論斷スル能ハサルモノアリト思料セララル。

今左ニ此ノ間ノ事情ヲ論究セル「臺南大圳ニ關スル或ル日ノ談話」

ト題シ最近臺灣ノ水利誌トニ掲載セラレタルモノアリタルヲ以テ、其ノ要點ヲ摘録シテ參考ニ資セムトス。

臺南六洲ニ關スル或ル日ノ對話抄録

臺灣ノ水利第五卷
第六號掲載

有安龍太氏談

一 三三年輪作ノ促進對策ニ關スル調査研究ノ方法

本問題ハ水利農業技術的方面ノミナラズ經濟上ノ問題ニ言及セサルヘカラサルヲ以テ極メテ難事ニ屬スルモノナリト雖、三年輪作促進上ノ對策ニ就テハ當然考究セサルヘカラサル問題ナリ。然レトモ該事項タルヲ事業上ノ重大性ニ鑑ミ充分ナル研究ト調査ヲ遂ケ其ノ結果ヲ俟ツニアラサレハ確固タル對策ヲ樹立スル能ハサルモノナリト思考ス。

而シテ對策ト稱スルガ如キハ極メテ難事タルヲ免レス故ニ之カ對策講究ノ資料トモナルヘキ調査研究ノ方法、即チ其觀點ニ就キ私見ヲ抽象的ニ述ヘムトス。

臺南六洲組合區域内ニ於ケル通水開始ハ大正十三年ニシテ虎尾郡ノ一部崙背方面ニ初メテ通水セラレ昭和三年ニ至リ虎尾郡、北港郡下ニ於ケル濁水溪系統ノ大部分灌漑セララル、ニ至リ、其ノ後昭和五年烏山頭貯水池系統ニ屬スル北港溪以南ノ嘉義、東石、新營、曾文、北門、新化、新豐郡下ニ亘リ灌漑セララル、ニ至リタルモノニシテ、即チ通水開始以來濁水溪系統ハ十二箇年、烏山頭貯水系統ハ六年ヲ經過セルモノナルモ、之ヲ灌漑全般ニ普及スルニ至リタル昭和三年ヨリ起算シ、前者ハ八箇年、後者ニアリテハ昭和六年ヨリ起算シ五ヶ年ヲ經過セルモノト觀察スルヲ妥當ナリト思考ス。

今昭和十年ニ於ケル輪作成績ヲ示セハ左ノ如シ

輪作區作付割合 (昭和十年)

區別	水稻	甘蔗	雜作	計
第一區 (雜作區)	一三、〇%	二〇、六%	六六、四%	一〇〇、〇%
第二區 (甘蔗區)	九、九	五九、七	三〇、四	一〇〇、〇
第三區 (水稻區)	八五、〇	六、九	八、一	一〇〇、〇
計	三五、九	二九、一	三五、〇	一〇〇、〇

以上表示スル所ニヨリ之ヲ觀察スルトキハ意外ニ良好ナル成績ヲ示セルカ如キモ、畢竟平面的 (横斷的) 集計ノ觀察ニシテ之ヲ地方別、地帯別或ハ縱斷的、即チ時間的ニ觀察スルトキハ未タ充分ナリトハ云ヒ難ク、亦敘上ノ觀察ハ組合埤圳經營上ノ立場ヨリ觀察シタルモノニシテ、之ヲ區域内農家箇々ノ經營經濟等ノ方面ヨリ觀察スルトキハ果シテ充分ナル成績ナリトハ言ヒ難カルヘシ。

現行三年輪作ノ可否ヲ論スルハ別問題トシ、要ハ只此ノ輪作ノ有效適切ナル促進對策上ヲ主眼トスル埤圳組合經營上ノ水利運用ト相俟テ、農家經營經濟上ニ於ケル栽培作物ノ組合セニ關スル有效適切ナル妥協點ヲ實現セシムルニアリ。而シテ本區域内三年輪作ノ實施促進ヲ圖リ、臺南州下ニ於ケル産業發展ト農家經濟ノ向上ヲ企圖セムトスルノ方策ニ關シテハ其ノ觀察ノ方法ニ依リ其ノ方策多クアルヘシト雖モ、先ツ以テ技術的方面、經營經濟的方面、農政的方面トノ三者ヲ擧テサルモノナルヘシ。

(一) 技術的方面ヨリノ觀察

三年輪作問題ニ關シ技術的方面ヨリ考察スルトキハ之ヲ大別シテ水利技術ト農業技術トニ分ツコトヲ得ヘシ。

A 水利技術方面ニ於テハ灌溉、排水ノ問題ニシテ、前者ハ主トシテ用水量關係、後者ハ排水施設改善ニ關スル事項ニ外ナラス。而シテ水盤關係ニ於テハ濁幹線系統ハ林内ノ濁水溪取入口、烏山頭系統ハ會文溪取入口ニ於ケル取入可能水量及時期之ニ伴フ區域内給水區ニ灌溉シ得ル水量及時期トハ重要ナル研究事項ナリトス。

濁水溪取入口設備ノ安定性、烏山頭取入口ノ調節、水盤給水直後ニ

於ケル貯水量ノ増大等ハ特ニ考究ヲ要スヘク亦作物ノ灌溉ニ關スル既定事項ハ灌溉ノ具體的方法及適切ナル時期ノ問題ニシテ、亦將來ニ對シテハ雜作灌溉ニ關スル事項等ナリ。

排水問題ニ關シテハ夏季ニ於ケル雨量ハ狀況之ニ對應スル設備ノ精査等ナリトスルモ、氣象殊ニ降雨ノ分布及量、暴風雨ノ狀況等ニ關スル調査ヲ必要トス。而シテ灌溉ニアリテハ冬季即チ乾燥期、排水ニアリテハ夏季即チ雨季ニ於テ最モ注意ヲ要ス。

B 農業技術方面ヨリ觀察スルトキハ區域内ニ於ケル疾患地ノ主ナル看天田、鹽分地帯ノ土地改良ト地方維持並各作物ニ對スル肥培管理ノ改善ト輪作上ノ作物組合セハ主要ナル事項ニ屬ス。而シテ看天田、鹽分地ノ土地改良方法トシテハ、前者ニアリテハ、ビユースプラオ深耕、後者ニ於テハ排水施設ノ完備等ニ依ル改良方針確立シ、着々進捗中ナルヲ以テ今後ニ於ケル改良ノ普及ト改良地ノ維持増進ヲ圖ル方法ヲ講究セサルヘカラス。之等ハ單ニ農業技術的方面ノミナラス水利技術方面ニ於テモ多大ノ關係ヲ有ス。

次に全般的地方維持増進ノ方策ナントモ之等ハ各作物ノ肥培管理上ノ一操作ニ屬スル所アルヘキモ、特ニ堆肥施用及綠肥栽培ヲ促進シ輪作ヲ爲ス等種々考慮ヲ要スヘキモノナリト思考ス。

各作物ニ對スル肥培管理ノ改善ハ要スルニ作物種別ノ撰擇ト作物ノ種類、品種、栽培方法ノ改善ナリ。而シテ嘉南大圳區域内ニ於ケル三年輪作ノ基調トスル中心作物ハ水稻ト甘蔗ノ二作物ナルヘシ。之等ハ本區域三年輪作式給水法採用ノ方法トシテ新ニ案出セラレタルモノニアラスシテ、埤圳新設以前ニ於テ既ニ該作物ヲ各別ニ或ハ之ヲ組合セ輪作シ來リタルモノニシテ、該二作物ヲ除ク能ハサルハ論ヲ俟タサル所ナリ。

本區域内ニ於テハ水稻、甘蔗ヲ除ク他作物ヲ雜作ト稱シ、其ノ主作物ハ甘蔗、陸稻ニシテ豆類、麥類之ニ亞ク。然ルニ從來作付僅少ニシテ顧慮セラレザリシ黃麻、小麥ノ有望シセラレ、ニ至リ、之等作物ノ作付面積ハ漸次増加ノ傾向ヲ呈シ、殊ニ黃麻作付ノ増加ハ督府當局ノ獎勵ニ據ル所甚大ナリ。亦綿作獎勵ニ依リ棉作具體化スル

ノ機運ヲ醸成シ、甚願其ノ他國產作物ニ關シテモ早晚其ノ作付獎勵ヲ喚起セラル、ニ至ルヘシ。

區域内輪作々物ハ計畫當初ト今日トハ大ナル變化ヲ來シ且ツ齋ラサムトスルノ傾向ヲ呈シ、第一、黃麻、棉作ノ夏季栽培作物、第二、冬季裏作タル小麥ニシテ、之等新興作物ノ出現ニ依リ輪作々物ヲ再検討セサルヘカラサルノ必要ヲ生ス。

而シテ既往栽培作物ニ就テハ優良品種ノ摘出撰擇栽培法ノ改善ニ關シ努力ヲ要スルハ論ヲ俟タサル所ナルモ、輪作上ノ作物組合セ、即チ輪作順序ニ就キ輪作經營上考慮ヲ要スルハ左ノ諸點ナルヘシ。

- (A) 營養分利用上ノ點ヨリ考慮スヘキコト
 - (B) 病害虫其ノ他害敵防除ノ點ヨリ考慮スヘキコト
 - (C) 耕種上ノ點ヨリ考慮スヘキコト
 - (D) 水利ノ便否ヨリ考慮スヘキコト
 - (E) 經營經濟上特ニ農業勞力配分ノ點ニ考慮スルコト
- 以上ノ中 A 乃至 D ノ四項ハ技術的方面ニ屬スルヲ以テ、輪作順序

特ニ雜作物ノ組合セニ關スル調査研究ヲ要ス。本區域内實施ニ係ル輪作法又所謂三年輪作法ニシテ、水稻ニ半年、甘蔗ニ約一ケ年半ヲ要スルハ決定的ナルヲ以テ、殘餘一ケ年ハ雜作期間ナリ。

從ツテ輪作方式ノ骨格ハ「水稻―雜作―甘蔗」、
「水稻―甘蔗―雜作」ノ二方式ヲ出デザルヘク、何レモ現在實施ニ係ルモノニシテ之ヲ自然的並經濟的見地ヨリ最モ完全ナルモノタラシメムトセバ、一ニ雜作物ノ配合如何ニ歸セサルヘカラス。實ニ雜作物配合ノ適否ハ以テ前兩様式ノ成績ヲ左右スル鍵ヲ掌握スルモノナリト云フモ敢テ過言ニアラサルヘシ。然ラバ雜作々物ハ如何ニシテ配合セシムルモノナルカヲ検討スルトキハ、主要作物タル水稻、甘蔗ノ栽植及收穫時期ノ決定ヲ俟タサルヘカラス。然ルニ水稻作ノ時期ハ本州本來ノ通水計畫ニ依リ一定ノ限度ヲ有スル以上、甘蔗ノ栽植時期ハ以テ輪作經營上ノ裁決權ヲ有スルモノト言ハサルヘカラス。此ノ意味ニ於テ蔗作ノ研究ハ可成リノ重要性ヲ有ス。

農業水利ノ所謂水ニ關シテハ、水ノ存在ニ依ル作物ニ在ラス、

作物ヲ主體トスル水ナリトノ觀念ニ基キ、灌溉ハ作物ヲ主體トシ之ニ適切ナル水ノ配合ヲ必要トス。從ツテ水利技術的ニ過去ノ實績ヲ精査シ、通水可能量及時期等ノ範圍ヲ考究シ、他面各種作物ノ栽培狀況及試驗成績等ヲ調査研究シ、先ヅ以テ水量ノ範圍内ニ於ケル適切ナル給水方法ト栽培作物ノ配置ニ就キ考究ヲ要スルモノナルヘシト思考ス。

爰ニ一言ヲ要スルハ臺灣殊ニ當臺南州下ハ從來乾燥農業ヲ主トスル地方ナルヲ以テ、農業水利ニ關スル觀察ニ就テハ、余ハ日本の農業水利即チ水稻灌溉ヲ主トスルモノナリトノ觀念トハ異ナル觀念ヲ有スルモノニシテ、臺灣ハ亞熱帶的乃至熱帶的農業ニシテ、雨量ノ分布ニ依リ乾燥期ト雨期トニ劃然タル區別アリ、亦其ノ農業經營ニ於テハ地勢、氣候等自然的條件ノ支配ト母國內地資本ノ人爲的條件トノ支配ニ基ク特用作物等ノ工業原料作物栽培ノ現狀及將來ニ於ケル我帝國ノ内外地産業ハ相互依存のニ關聯シ、有機的緊密關係ニ立ツヲ原則トスルヲ以テ、我殖民地臺灣殊ニ自然的

條件ノ適シタル南部臺灣ハ農業經營上、必然的ニ排水ト雜作灌溉ニ就テ充分ナル考慮ヲ拂フノ必要ヲ痛感スルニ至ルヘク、即チ今後ニ於ケル農業水利ニ對スル觀點ハ此處ニ存スルモノナルヘシト思考ス。

(二) 經營經濟的方面ヨリ觀察

三年輪作促進ニ就テハ之ヲ經營經濟的方面ヨリ觀察ヲ下セハ、本大圳組合管理上ヨリ觀察スル場合ト或ハ組合員ノ土地並ニ農業經營經濟上ヨリ觀察スル場合トニ二大別スルコトヲ得ヘシ。

一 大圳組合側ヨリ見ルトキハ曩ニ論シタル如ク、水利運用上ノ功拙ト組合區域管理上ニ對シ考究ヲ要スルニハアテサルカ、前者ハ水利技術問題ノミニ就キ述ヘタルモノナルカ、後者ノ問題ニ對シ一例ヲ擧ケレハ郡部區域ト郡行政區域ノ關係ヲ如何ニスヘキ等ノ問題ナリ。

一 組合員側ヨリ即チ個人經營經濟上ノ立場ヨリ之ヲ考察スルトキハ不耕作地主タル土地所有者ト農家タル耕作者ト其ノ他特殊ナル製

糖會社トニ大別シ觀察スルノ必要アルヘシ。
 不耕作地主ハ土地經濟關係即チ小作問題ナリ。製糖會社ハ農場及貸
 付社有地ノ經營經濟關係、耕作者タル農家ノ經營經濟關係ナリトス。
 經營耕地ノ規模及耕地ノ所有關係ノ狀況等ニ就キ、地別ニ調査ヲ
 要スヘキモノナルニトハ輪作ノ決定條件トシテ前記セル如ク、農業
 勞力ノ配分關係ニ最も多ク相關聯スルト共ニ小作關係ニ影響ヲ及ホ
 スヲ以テナリ。

現代ノ如ク發達セル經濟下ニ於テハ内地ニ比シ臺灣ノ農業ハ益々集
 約的ニ促進セシメサルヘカラスト雖モ、南部臺灣ニ於テハ特ニ其ノ
 感ヲ深カラシムルモノアリ。然リト雖モ本州農家ノ經濟現狀ヨリ資
 本ヲ集約的ナラシメ經營ノ高度化ヲ企圖スル如キハ極メテ困難ナル
 ラ以テ、勞力ノ集約ニ努メサルヘカラス。然リト雖モ最も推奨
 ニ値スル方法ハ該勞力中雇傭勞力ヲ出來得ル限ヲ排除シ、以テ自家
 勞力ノ分配並利用ノ完全ヲ期スルニアリ。即チ小農經營ノ要諦ハ純
 收益ニアラスシテ、勞銀收入ニ存スル所大ナルモノアルカ爲ナリ。

而シテ輪作方式中ニ加入スル農作物ノ組合セ如何ニ依リ、其ノ勞力
 利用ノ程度ニ差異ヲ生スヘシ。故ニ新興作物タル黃麻、棉、小麥等
 ヲ新ニ加入シ、輪作ヲ實施セシムルニハ最も此點ニ注意セサルヘカ
 ラサルモノナリ。

之カ決定ハ州下生産ニ係ル農作物ノ作業別勞力並ニ次期作着手迄ノ
 所要勞力等ヲ詳細調査研究スルノ必要ヲ生ス。殊ニ南部臺灣ニ於ケ
 ル農企業ハ製糖會社等ノ存在ニ依リ、内地資本ト外地（地元）勞働
 ニ基ク商品生産ニシテ、内地農家ニ於ケル普通自給自足ヲ目的トス
 ル農家經濟ニ比シ、尙一步市場經濟ニ進出セルモノアリ。從ツテ其
 ノ輪作方式ニシテ害敵ノ撲滅阻止、勞力ノ分配利用、地方ノ維持其
 ノ他土地利用上ノ諸條件ニ對シ如何ニ合理的ナリトスルモ、其ノ收
 支經濟劣勢ナルモノニアリテハ實際ニ應用シ何等價値ナキモノナリ。
 故ニ充分價々ノ農作物經濟ヲ究メ其ノ最も純益ノ大ナル物ヲ採リ、
 尙合理的ニ之カ組合セヲ行フノ必要アリ。然ルニ水稻、甘蔗ハ既に
 決定的ノ作物ナルヲ以テ、輪作方式經濟ノ大ヲ期セムトセハ、前兩

者以外ノ作物即チ雜作ノ配合ニ最モ留意セサルヘカラス。

(三) 農政的方面ヨリノ觀察

農家ノ輪作經營上經濟的ニ利益多大ナル方式ヲ選フ可キハ、常識上極メテ當然ノ事項ナルモ、徒ラニ有利ナル作物ニ偏スルトキハ必スヤ生産ノ過剩ハ作物價格ノ低下ヲ來シ、結局不利益ナル結果ヲ招來スルハ勢ヒ免カレ能ハサル所ニシテ、總テ物資ハ其ノ需給關係ニ關聯シ其ノ價格ニ高低アルハ勿論ナルモ、農業ハ一產物ノ生産ニ少クモ半箇年ヲ要スルヲ以テ、商業狀態トハ自ラ其ノ趣ヲ異ニス。只幸ニシテ農産物ハ概シテ時間的ニ顯著ナル變動ナキモ、本區域内外ノ狀勢ヨリ觀察スルトキハ、恆久性ヲ有スル作物栽培ヲ考慮セサルヘカラス。從ツテ經濟上有利ナリトノ觀念モ、一時的眼前ノ利益ニ非スシテ必ス將來ヲ通シ利益ナリトノ觀念ニ基クモノナリ。

臺灣ノ農企業ハ殖民地農企業ニ屬ス。從ツテ其ノ理想トスル所ハ相互依存關係ニ存在スルヲ要ス。幸ニ本島農業ハ亞熱帶及熱帶ニ屬スル

關係上、朝鮮ト内地間ニ於ケルガ如キ相尅關係ヲ有セス。只懸念モラルルモノハ米作問題ナリトスルモ、朝鮮ニ比スルトキハ極メテ小ナル問題ニシテ、其ノ他ノ作物甘蔗、甘藷、黃麻、豆類、麥、綿、蓖麻等ハ内地農業トハ互助的關係ヲ有スルモノナリ。

小麥作ニ就テハ聊カ相反スルモノアルカ如キモ、商品價值トシテ品質上ヨリ見ルトキハ寧ロ相互關係ニアルモノト言ハサルヘカラス。

前述ノ如ク區域内外ノ狀勢ニシテ内地農業關係ニ對スル懸念ヲ有セサル問題ハ島内ニ限定セララルコトナリ。從ツテ第二段ノ方策トシテ臺灣島内ニ於ケル臺南州、次テ臺南州内ニ於ケル嘉南大圳組合區域ノ事項トシテ、充分ナル調査研究ヲ進メ輪作々物ノ種別及作付範圍ヲ考究スヘキモノナリト信ス。即チ現下ニ於ケル臺灣ハ帝國ノ最モ重要ナル熱帶殖民地ニシテ、母國內地農業ニ對シテハ互助的關係ヲ有スルハ前述セル如クニシテ、此ノ關係ハ將來益々發達セシメサルヘカラサルヲ以テ、重要ナル農産物ハ之ヲ帝國全體ヲ通シタル統制經濟下ニ一元化シ、臺灣ハ其ノ地域的分業ノ原則ニ據リ、北部

滬帶、南部熱帶ノ農業經營ヲシテ益々發展助長セシムルノ必要アル所以ナリ。

昨今盛ニ統制經濟ノ唱導セララルト共ニ、外地農業ノ米穀相尅關係ノ重大化セル今日之ヲ考慮スルノ必要アルハ勿論ナリ。而シテ前述セル所ニ依リ輪作々物ノ合理的組合セニ關スル決定條件ニ就イテハ大體終了ヲ遂ケタルモノナリト思考スルモ、尙該輪作法決定セルモノト假定シ、之ガ實行上ニ關シ一、二ノ伏在セル先決問題トシテ、論議ヲ要スルモノハ、第一 農業經營上其ノ根幹タル土地問題ナリトス。即チ耕作者ニ於テ土地所有權ヲ有セサル限り、若シ中途ニ於テ之ヲ返還セシメラルル方如キコトアリトスレハ如何ニ合理的經營ト雖モ、畫餅ニ歸シ根本的ニ破壞セララルニ至ルヘシ。而シテ臺南州下ノ小作地面積ハ全耕地面積ノ四四%、小作農ハ全農家數ノ六六%ニ當リ、州下耕地ノ大部分ヲ占ムル。嘉南大圳區域内ニ於テハ小作地三九%、小作農五七%ト推算セラシ、耕地ノ大半ハ自己所有ニ屬セサル關係上、其ノ小作契約ノ如何ニ依リ輪作經營上支障ヲ招來

スルコトナキヤヲ憂フルモノナリ。

以上ハ頗ル重要ナル問題ニシテ普通農業經營ニ於テモ、尙且土地ノ安定性ヲ有セサレハ砂上ニ樓閣ヲ築クカ如クニシテ、甚々危險性ヲ伴フモノナリ。殊ニ本區域内ニ於テハ三年輪作經營ナルヲ以テ、其ノ小作慣行改善上特異性ヲ有ス。即チ小作改善ハ本島農政上既定ノ事業ニシテ、目下全島ニ亘リ書式契約督勵中ニ屬スルモ、之ガ契約期ハ三箇年倍數即チ三、六、九、一二等ニ限定スルノ要アルヘシ。然ルニ本區域内ニ於ケル小作慣行ハ口頭契約其ノ大半ヲ占メ、且ツ契約期間不定ニシテ殆ンド一箇年毎ニ更新スルノ現状ナリ。而シテ其ノ小作料ニ於テモ田畑別ニ穀物納、金納作分等ニシテ他州ト異ナラス。之レ輪作經營ヲ困難ナラシムル一要素タルノミナラス、小水路維持費支出上ノ支障ハ勿論、給水ノ圓滑ヲ阻害スル原因トモナリ、從ツテ小作關係特ニ小作契約法、小作期間、小作料及地主小作兩者ノ負擔區分ニ付キ調査研究ヲ爲スト共ニ其ノ對策ヲ樹立シ以テ農事組合等ノ督勵ニ依リ之ガ目的ノ達成ヲ期スルノ要アリ。

本組合區域ハ三年輪作式給水ノ圓滑ヲ期セムカ爲約一五〇甲ノ給水單位ヲ定メ之ヲ三小區ニ分チ、各區ニ集團耕作方法實施ノ關係上、組合員ノ經營、耕地ノ配分如何ノ問題ヲ生スヘシ。

右ノ現在ニ於ケル經營耕地ノ分散狀況ハ同一小區ニ耕作スル者三二%、異リタル二作物區ヲ耕作スル者約三九%、異リタル三作物ヲ耕作スル者約二九%ニシテ、即チ三小區ヲ耕作セサル者約七割ヲ占ム。從ツテ三年輪作ニシテ嚴重ニ實施普及セラルル場合ニ於テハ、自家食料タル米ノ不足ヲ生シ、或ハ米、蔗作、雜作物價格ノ高低ニ依リ或作物ニシテ採算上有利ナリトスルモ、之ヲ栽培シ得サルノ非經濟的經營ヲ餘儀ナクセラルル場合ヲ生スヘキヲ以テ、經營耕地ハ必ス三小區ニ跨ル條件ノ下ニ交換配合ヲ必要トス。然リト雖モ本事業ハ耕地整理法或ハ之ニ準スル方法ノ制定セラレサル限り、頗ル難事ナルノミナラス極メテ重大ナル問題ナリト信ス。故ニ區域内ノ現狀ヲ充分調査研究シ、深甚ナル考慮ヲ以テ之カ對策ヲ樹立スルコトヲ要ス。

ニ輪作經營實施促進策ニ就テ

大圳組合員タル農家ノ福利増進ト區域内ノ産業發展ニ資スヘキ、三年輪作普及對策ノ樹立ハ頗ル難事トスル所ニシテ、殊ニ本圳區域ハ十五萬甲歩ノ面積ヲ有スル非常ニ廣大ナル地域ナルヲ以テ、自然的及社會的條件ニ依リ種々狀態ヲ異ニスル地帯ノ存在スル以上、夫々各地ニ適合スル雜作物ノ輪作方式ヲ計劃シ、一方輪作上ノ支障アル地帯ノ地域ニ對シテハ當初ニ於テ其ノ障礙物ヲ排除シ、然ル後具體的方式ニ依リ輪作ヲ奮勵スヘキモノナリト信ス。

而シテ研究ノ結果、各地方ノ實情ニ即シタル三年輪作方策ノ計劃セラレタル場合ニ於テハ、之ヲ組合員ニ普及徹底セシムルト共ニ、之ヲ實行セシムル手段方法如何ノ問題ヲ生スヘク、之カ實行ニ關スル普及促進對策ハ多々アルヘシト雖モ要ハ左ノ三點ニ分ツ事ヲ得ヘシ。

(一) 強制ニ依ル三年輪作ノ促進法

(二) 經濟的誘導ニ依ル三年輪作促進法

(三) 道德的誘導ニ依ル三年輪作促進法

(一) 第一ハ強制ニ依ル三年輪作促進法ニ就イテ考究スルニ、現今行ハ

ルル自由農業組織ニ在リテハ、三年輪作ノ促進ニ當リ法律命令、其ノ他諸規定ヲ以テ之カ實施ヲ強制スルカ如キハ現時代ト相容レサルモノアリ、到底成立シ得ヘキモノニアラス。勢ヒ經濟的及道德的ニ之ヲ誘導セサルヘカラサルモノナリ。

(二) 第二ハ經濟的誘導ニ依ル輪作促進法ナルモ、現下ノ社會經濟組織ハ貨幣經濟組織ニシテ、農業ノ經營又然リトス。往時ノ自給自足時代ハ既ニ之ヲ脱シ、現今ノ經濟組織下ニ於ケル農業經營ハ其ノ栽培スル作物ニ對シ經濟上採算有利ナルモノヲ選定スルハ、自然ノ趨勢ナリトスルモ、一面本島農民ハ東洋民族ノ特性トシテ歴史的、感情的ニ水利ノ便ニ伴ヒ、水稻作ニ執着性ヲ有スルヲ以テ、之等兩者ノ關係ヲ考慮シ、三年輪作ヲ助成スルハ頗ル效果ノ大ナルモノアルヘシ。即チ現下ノ輪作ニ於テハ甘蔗區ニ甘蔗作ヲ爲セハ、水稻區ニハ給水ノ便アルヲ以テ因習的ニ水稻栽培ヲ爲シ、只雜作區ニ幾分各種ノ作物錯綜セラルルモノト豫想セラレ、由是觀之臺灣ノ蔗作ニ對シテハ、糖業獎勵規則制定セラレ、或程度迄之

ヲ制肘シ得ヘキヲ以テ、蔗作區作付ノ蔗作ニ對シ、各製糖會社ハ他區作付蔗莖トノ間ニ獎勵金、買收價格ノ差額ヲ設ケ、經濟的ニ制肘スルトキハ幾分其ノ目的ヲ促進シ得ヘシ。大製糖工場ニ依リ原料採收區域内ニ於ケル甘蔗區域面積工場能力ニ比シ少ナキ場合アルヘキモ、同一會社ノ隣接工場ハ原料蔗莖ヲ工場相互間ニ融通ノ途アルヲ以テ之等ノ懸念ハ蓋シ鮮少ナルヘシ。

尙甘蔗作區ニ於ケル甘蔗作付ヲ完全ニ實施セラルルニ於テハ、大體ニ於テ甘蔗作付獲得上ノ諸獎勵金及諸經費ノ節約ヲ爲シ得ルヲ以テ、該節約額ハ之ヲ蔗作區作付ノ原料ニ對スル價格、獎勵金ニ附加スルコトヲ得ルモノナリト觀察セラルルモ、製糖會社ハ營利事業團體ナルヲ以テ、第三者トシテ何等經驗ナキモノノ觀察トハ異ナルモノアルヘキヲ以テ、其ノ實行モ容易ナラサルヘク、亦他ノ農作物タル米、甘藷、黃麻等ノ價格關係ニ依リ、自ラ其ノ利害得失異ナルカ故ニ、之ヲ以テ萬全ノ策ナリトハ言ヒ難キ憾アリ。

(三) 事情如斯ナリトスレハ、三年輪作促進法ハ第三案タル道德的誘導

法ニ俟ツ處頗ル大ナルモノアリト言ハサルヘカラス。然ルニ本島農民ノ性情ヨリ考察スルトキハ、道德的誘導果シテ其ノ效果ヲ齎スコトヲ得ルヤ否ヤ甚タ疑問トスル所ナリ。然リト雖モ凡テ獎勵事業ノ要素ハ人ニアリ、從ツテ其ノ進展ヲ期セムトセハ其ノ人ヲ得サルヘカラサルハ勿論、之ニ從事スル農民ノ理解ニ俟タサレハ獎勵事業ノ促進ヲ企圖スルコトヲ得サルヘシ。故ニ三年輪作ノ促進ヲ圖ラムトセハ、組合員タル農民ノ自覺ヲ促スニ非サレハ、之カ目的ノ達成ヲ期シ難ク、殊ニ南部農民ハ未タ智識程度低ク眼前ノ利ニ敏クシテ、將來ヲ顧慮セサルノ性質ヲ有スルヲ以テ、三年輪作農法ノ促進ハ頗ル難事トスル所ナリ。

本組合事業ハ他ノ水利施設ト稍々其ノ趣ヲ異ニスルヲ以テ、此ノ特殊事情下ニ於ケル、實施運用ハ一ニ組合員共同精神ノ發露ニアリ。幸ニシテ本組合區域内ニハ給水區域毎ニ實行小組合設置セララルヲ以テ、當局ノ熱誠ニ依リ技術的、經濟的見地ニ立脚シ、之カ指導訓練ニ全力

ヲ傾注スルト共ニ他面諸種ノ農政的施設ヲ爲シ以テ目的ノ達成ニ努ムルニアリ。

以上説述シタル所ハ極メテ抽象的ニシテ、具體的方策ニ及ハザリシ所以ノモノハ事業ノ範圍廣大ナルト各種對策問題ノ頗ル大ナルモノアリ、從ツテ充分ナル調査研究ヲ遂クルニ非サレハ輕々ニ論斷ヲ下ス能ハサルカ故ナリ。而シテ更ニ之ヲ要約スレハ三年輪作促進對策ニ關シテハ、要スルニ輪作經營ノ實行ヲ簡易ナラシムル方進ノ下ニ、技術的並經濟的ニ之ヲ調査研究シ、具體的輪作方式ヲ合理化スルト共ニ、他面從來計劃實行上ノ障害タル小作問題及經營耕地ノ分配等ニ對シテ對策ヲ樹立シ、以テ之カ普及促進策トシテ、銳意既設實行小組合ノ整備訓練ニ努力シ、之等小組合ノ統制アル能動的活動ニ依ルヲ最終目的達成ノ方策ナリト信ス。